

	授業における課題 (児童の実態・教師の指導上の課題)	具体的な授業改善策
国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>○新出漢字の学習の際に、字を丁寧に書こうとしたり、言葉さがしに意欲的に取り組んだりするなどして、習得していこうとする姿が見られるが、それを使って文章を書くときに、誤字が見られるなど活用の仕方が課題。</li> <li>○音読の宿題に毎日、きちんと取り組んでいるが、授業中に音読していると誤読している様子が見られる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○授業中にわずかな時間で、新出漢字が入った短い文を書く活動を取り入れていく。</li> <li>○授業中に、意味がわかりづらい言葉や読みづらい言葉について、適宜指導する。また、一人で読む、グループで読むなどの場面を設定し、正しく読めているか、チェックする。</li> </ul>
社会	<ul style="list-style-type: none"> <li>○調べたことをもとに、自分の考えをもったり、その考えを分かりやすくまとめたりすること。</li> <li>○グラフや年表など、資料から読み取ることに慣れさせていくこと。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○調べたことや学習したことを、地図や新聞・作文など様々な表現方法で表す活動を繰り返し行っていく。</li> <li>○地図の読み方を繰り返し確認していくために、地図を身近なところに置き、いつでも確認できるようにする。</li> </ul>
算数	<ul style="list-style-type: none"> <li>○かけ算九九の定着に個人差がある。</li> <li>○習熟度別で授業を展開している。児童が選択したコースにずれが見られる。</li> <li>○思考力を要する問題に戸惑う様子が見られた。知識の習得を確実にするとともに、活用できるようにしていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○かけ算九九を定着させていくために、個別にプリントなどを渡し、繰り返し指導を行っていく。また、日常生活と関連付けて指導する。</li> <li>○各コースにおける重点指導事項を決めたり、選択したコースのずれが見られる児童には声を掛けたりしていく。</li> <li>○考えを発表する時間を十分に確保し、友達の説明の仕方のよいところを取り入れるように指導する。</li> </ul>
理科	<ul style="list-style-type: none"> <li>○植物の観察記録をする際、視点を確認してから取り組ませても個人差が見られる。植物の姿や成長が明確になるように数値化することを意識して観察すること。</li> <li>○実験を行う際、楽しくなってしまう、実験方法や実験を行う目的、事前に考えた予想との相違点など、めあてが焦点化されていないことがある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○観察記録の視点を再度クラスで確認し、さらに、視点が明確になっている児童を全体に見せ、共通理解を図るとともに、観察のたびに数値化できるものに関しては具体的な数を用いて書くことを繰り返し指導していく。</li> <li>○実験を行う直前にめあてを確認すること、また、実験中にも教員側から子どもたちに共通点・相違点を考えさせる声かけを欠かさず行っていく。また、実験を行う際の流れを確実に定着させ、安全に行わせる。</li> </ul>
図画工作	<ul style="list-style-type: none"> <li>○創作意欲が高く、熱心に取り組む児童が多い。一方、自由に発想することに慣れていない場面も見られる。</li> <li>○創作意欲が途中で途切れてしまうことがある。児童の創作意欲を持続させていく必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○一つのテーマを提示し、児童の言葉を拾いながら、発想を膨らませる導入を工夫する。また、制作途中で発想豊かに描き進めている児童の作品を紹介し、様々な色の使い方や技法などに触れさせる。</li> <li>○作品制作の途中で鑑賞の時間を取り入れたたり、参考作品を見せたりして、意欲の持続を図る。また、互いの作品を認め合ったり、教員から声掛けをしたことで、児童の創作意欲が持続できるようにする。</li> </ul>
音楽	<ul style="list-style-type: none"> <li>○やる気はあるけれども、リコーダーや鍵盤ハーモニカの指使いを覚えることが苦手な児童への指導方法を工夫する必要がある。</li> <li>○一生懸命歌うあまり、どなり声になってしまうことが時々ある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○常時活動として、既習曲を復習したり、ペアで教え合う時間を設定したりして、苦手意識をなくすように工夫する。</li> <li>○年間を通して、正しい姿勢と柔らかい歌声を習慣化できるようにし丁寧に声掛けをする。また、CDや動画で美しい演奏に触れることで、児童があこがれをもち、自分の出す声を聴くように指導する。</li> </ul>
体育	<ul style="list-style-type: none"> <li>○各領域全般において、楽しんで授業に取り組んでいるが、様々な動き方や体の使い方を身に付けさせていくために、多様な運動経験を積み重ねることが重要である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○各領域の特性を大切にしながら運動に取り組ませる。特に、体づくり運動の多様な動きを作る運動で様々な動きを経験させ、身に付けさせていきたい。器械運動などでは、動きのポイントとなる資料(動画や写真等)を活用し、視覚的に体をどう動かせばよいのかが分かるようにする。</li> </ul>

	<p>○運動前にめあてを立て、運動後に振り返りをするなど、学習の仕方を身に付けられるようにしたい。めあての立て方やめあてを意識して運動すること、友達同士で教え合う態度を身に付けさせたい。</p>	<p>○学習カードに、めあてを書いてから運動し、運動後には振り返りを書くようにする。その時間にどんなことを意識して運動したいか、自分の課題をどうしたら解決できるかなど、めあてにさせたい。教師が一方的に「教える」だけでなく、児童が「考える」学習をしていくことで運動の日常化にもつながると考える。</p>
道徳	<p>○教師が価値に迫れる発問を吟味し、授業を構成していくこと。</p> <p>○児童が、価値を一般化して日常生活にしっかり生かせるようにしていくこと。</p>	<p>○教師が教材分析を十分行った上で、児童の実態を踏まえてねらいを設定する。その上で、価値に迫れる発問を決めていく。</p> <p>○自分の生活の振り返りについて、ペアやグループなどでの話し合いを有効に活用する。</p>
外国語活動	<p>○「聞くこと」において、馴染みの薄い英語の音を聞いたり、それを大きな声でくり返したりすること。</p> <p>○「聞くこと」において、絵や写真、話し手の表情やジェスチャーなどから何となくの意味を推測すること。</p> <p>○「聞くこと」において、前後の文脈から何となくの意味を推測すること。</p>	<p>○歌やチャンツをたくさん取り入れ楽しく繰り返し英語を口にさせることで、児童には英語の音に慣れ親しませる。</p> <p>○英語を聞かせるときには必ず写真や絵を見せたり、表情やジェスチャーを意識したデモンストレーションを見せたりすることで、児童にはおおよその意味を推測させやすくする。</p> <p>○ストーリータイムで扱う物語は児童が既に内容を分かっているもの、かつ児童にとって馴染みのあるものにし、児童にはおおよその意味を推測させやすくする。</p>